とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	あそか保育園
日時	２０２４,９,３０

1，活動テーマ

＜テーマ＞

５歳児
どんぐりの数当てクイズを楽しもう

＜テーマ設定理由＞

自由遊びの中で空き箱にどんぐりを入れて転がしたり、どんぐりを落として音を鳴らして遊んでいた子ども達の姿をヒントに、みんなで楽しめる遊びができないかと考えておこなった。

2，活動スケジュール

どんぐりをいれた箱を振り、みんなで音を確認してから箱に何個入っているかを当てる。

3，活動のために準備した素材や道具、環境設定

空き箱・どんぐり

4，探求活動の実践

<活動内容>

・同じ箱を３つ用意して、それぞれ１個２個３個のどんぐりを入れて鳴らしてみる。音を聞いて違いを感じる。
・保育士が箱を振って音を鳴らして、どんぐりが何個入っているかを当てる。
・箱を子どもが振ってみたり、違う箱を持ってきて鳴らす子どももいる。何個入っているか友達同士で当てて楽しむ。

＜活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育者との関り＞

〇音の違いを感じる
「コロコロって音がする」
「転がっているのかな？」
「ゴロンゴロンって聞こえる」
「どんぐりがぶつかってるみたい」

・前回の太鼓の音当てクイズ同様に聞こえた音を言葉で表していた。中でどんぐりがどうなっているかを想像したり、友達と話す姿もあった。
・２個３個の違いは大人が聞いても難しさを感じたが、少しの音の違いに気付く子どももいた。

〇空き箱に入れて鳴らしてみる
「私も鳴らしてみたい」
「違う箱に入れたらどうかな」
「音が小さくなったみたい」

・室内にある空き箱を持ってきて１～３個のどんぐりを入れて鳴らしてみる。箱の大きさや素材によって音の違いや聞こえ方の違いがあることに気付いていた。始めにおこなった、何個入っているかのクイズを友達同士で出したりして楽しんでいた。「マラカスみたい」とリズムをとって鳴らしたり箱の底を叩いて音を鳴らす子どももいた。

5，振り返り

＜振り返りによって得た保育士の気づき＞

散歩で拾ったどんぐりと身近な空き箱を使って楽しむことができた。自分達で好きな空き箱を選んで遊ぶ所まで発展できた部分も良かったと思う。箱によって聞こえる音に違いがあることに気が付けたのも驚いた。リズムをとっている姿様子は今後合奏へと繋げていきたい。音を言葉で表現したりどんぐりの動きを想像する姿など、子ども達の遊びの工夫や発想力を感じた。